

不撓不屈

ふとうふくつ

就職は無理

「うちの子は就職なんて無理ですよ」。2009年11月に障がい者向けのビジネススクールサーブス「BAB（バブ）スクール」を開講し、しばらくたったころ聴覚障がい者の子どもを持つ母親から言われた言葉にD&I（東京都千代田区）社長の杉本大祐は衝撃を受けた。「普通に通えるし、手段は違っても話も

障がい者教育に着手

聞ける。子どもたちのために何かできないか」と思った。

給料を支給

そこで10年7月に障がいのあるすべての子ども向けの塾「情熱！テラコヤ塾」を始めた。勉強のほか、コミュニケーションや社会性を身につけ、子どもの可能性を最大限引き出すことに重点を置いた。障がいを持つ子どもが店で買い物ができるように泣いて帰ってきた経験などを受け、挑戦する力や将来の自立に欠かせない就職に必要な力を学ぶ「療育」に力を入れること

始めた。現在、東京、神奈川、大阪で計4教室を運営する。17年4月に中高生向け職業体験カリキュラム「TERRAJOB（テラジョブ）」を始め、飲食店での接客や調

職業体験で自立の力養う



……と杉本社長

理、農業などの職業体験ができる。D&Iが行う就職イベント用の資料作成、配送なども行う。社員向け期間限定カフェも開いた。

設立10周年

「日本は労働生産性は低いといった問題を障がい者雇用によって解消していきたい」と杉本。そのためにも障がい者がもっと働く機会を増やしたいと意欲を燃やす。D&Iは20日に設立10周年を迎える。同社の企業理念「BEYOND ALL BORDERS」が示すように、障がいだけでなく、あらゆる壁を越えて、誰もが挑戦できる社会の実現を目指し、杉本の新たな挑戦が始まる。（敬称略）

買う。そういう得。通所・在宅訓練を通じて就職をサポートする。誰かが挑戦できる社会の実現を目指し、杉本の新たな挑戦が始まる。（この項おわり。編集委員・渡部敦が担当しました）